

千代綱花全勝

紙相撲新聞

第157回本場所
四～五日目号

編集・発行
日本紙相撲協会

好調大神楽も1敗で追走

若嶋、春翔は2歩ほど後退

〔第百五十七回本場所四日～五日目〕

約1ヶ月半振りに第157回本場所は四日目と五日目の取組が行われた。

五日目を終えて、5戦全勝は大関千代鈴と前頭五枚目の綱乃花の2人となった。これを1敗で大関大神楽、関脇佐賀ノ海、平幕の剛勇山、西神門、六歌仙の5人が追う展開となった。

大関千代鈴は、今場所は綱獲りが多かった場所。しかし、そういったプレッシャーを一切感じさせない落ち着いた取り口を見せている。四日目は関脇



↑綱獲りに好発進の千代鈴は復調著しい鬼ヶ嶽に相撲を取らせず、今場所土つかずの5連勝。向かうところ敵なしの状況だ。

↓友砂親方の希望の星綱乃花は番付を上げた今場所も土つかずの5連勝。先場所敗れた照の王にも雪辱を果たし、絶好調だ。



鬼ヶ嶽は初日に横綱春ノ翔に勝つと、三日目は大関大神楽を立合いに左を差しての相撲で破り、四日目には3連勝と好調の関脇鹿富士を速攻相撲で破り、「今場所の鬼



春ノ翔○(押し倒し) ●出羽翼

は違う！」と勝間田親方も認める強さがそれだけに大いに期待されている。若嶋は、この一気に勝負をつけたところだが、立合いと勝負の不利な体勢。若嶋の巨に左を差されたいところだが、この一敗で追走した。若嶋は、この一敗で追走した。若嶋は、この一敗で追走した。

出羽翼と対戦。先々場で押し倒して敗れているだけに油断しない相手だったが、左を差して盤石の寄りで4連勝とすると五日目は小結鬼ヶ嶽と対戦。

待されたが、千代鈴は鬼ヶ嶽をまったく寄せつけずに正面土俵に寄り切りにした。前頭五枚目の綱乃花は先場所の続き幕内中位に上がった地位でもその実力を遺憾なく発揮している。四日に喜乃郷、五日目に照の王に勝つて、千代鈴とともに全勝で優勝争いを引張る。このまま勝ち進んでいくと、当然ながら、三役以上との対戦が組まれるものと思われる。友砂親方も「目指すは大関、横綱」と目標を高く持つ期待を寄せているだけに、後半戦の相撲が楽しみだ。



若ノ嶋○(寄り切り) ●若 巨



喜乃郷●(寄り切り) ○綱乃花



しかし、五日目に前日の疲れが出たか、烏帽子岳にあえなく寄り切られて2敗目を喫した。

この日は大関大神楽に心強い応援団が参加。今場所初めて大神楽後援会長を自負する佐賀ノ海を見せた。大神楽にとってこれほどない後方支援だ。その勢いをもたらして、四日目に

この日は大関大神楽に心強い応援団が参加。今場所初めて大神楽後援会長を自負する佐賀ノ海を見せた。大神楽にとってこれほどない後方支援だ。その勢いをもたらして、四日目に

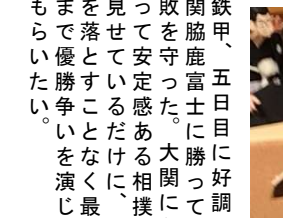
この日は大関大神楽に心強い応援団が参加。今場所初めて大神楽後援会長を自負する佐賀ノ海を見せた。大神楽にとってこれほどない後方支援だ。その勢いをもたらして、四日目に

この日は大関大神楽に心強い応援団が参加。今場所初めて大神楽後援会長を自負する佐賀ノ海を見せた。大神楽にとってこれほどない後方支援だ。その勢いをもたらして、四日目に

この日は大関大神楽に心強い応援団が参加。今場所初めて大神楽後援会長を自負する佐賀ノ海を見せた。大神楽にとってこれほどない後方支援だ。その勢いをもたらして、四日目に



月 山●(押し倒し) ○佐賀海



大神楽○(寄り切り) ●鉄 甲



春ノ翔○(引き落し) ●若 巨



春ノ翔○(引き落し) ●若 巨